



# News Release

平成27年11月16日

各 位

会 社 名 アジアパイルホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 黒瀬 晃  
(コード番号 5288 東証第一部)  
問合せ先 広報担当 道券 宏之  
(TEL 03-5843-4166)

## 施工報告書のデータ流用問題に関する国土交通省への報告について

本日、弊社グループのジャパンパイル株式会社は、国土交通省に対して、既成コンクリート杭工事に係るデータ流用との報道のありました18件に関し、その内容をご報告しました。

平成27年10月に既成コンクリート杭工事のデータ流用の報道のあった後、ジャパンパイル株式会社が、平成19年4月の設立以降に施工しました既成コンクリート杭工事のうち、平成27年11月6日迄に照会が寄せられたものが約1,000件となりました。

同日までに調査が完了したものは約500件ですが、その内データの流用や不備が疑われた事例が18件です。ジャパンパイル株式会社によりこの18件の詳細を調査し、データの流用を確認しました事例が以下の通り6件あり、その内容につき国土交通省へご報告いたしました。

尚、何れの事例も設計通りに施工しており、設計通りの杭の支持力性能に問題のないことを確認しております。

また、その他の事例12件は電流値データの流用や不備が疑われたものの、調査の結果事務ミス等（例えば、原データはすべての杭について保存されていたにもかかわらず、誤って同じデータを二度使用してしまった事例等）によるもので、データの流用が行われていないことを確認できております。

	物件所在地	建物用途
1	茨城県	病 院
2	愛媛県	警 察
3	福島県	公共施設
4	福島県	病 院
5	東京都	擁 壁
6	熊本県	事務所倉庫

また、弊社グループでは既に開示した通り、直近5年間の既成コンクリート杭工法のうち、電流値データを使用した埋め込み工法の施工案件に係るデータ流用の有無について調査する予定にしております。

そして、電流値データを使用しない施工件数の特定に時間を要しており、現状では確定しておりませんが、約1万件程度になると見込んでおり、すべての施工案件に係るデータ流用の有無に関しての調査が終了するまで約半年程度要するのではないかと考えております。

尚、弊社グループの今年度の業績見通しにつきましては、本件調査に係る人件費等によるコスト増が予想されることから、弊社グループの業績に影響を与えるものと考えておりますが、業績については見通せる見込みがつき次第ご報告申し上げる予定です。

以 上